

# ★ここに響くまちかどピアノ★

～紙屋町まちかどピアノ～

以前から、広島市の紙屋町地下街にストリートピアノが設置されたことは聞いていましたが、先月2月27日（土）、県内のコロナ感染者0人の日、一人の青年が弾く「渚のアデリーヌ」（リチャード・クレイダーマンのデビュー演奏曲）の曲に出あえる機会がありました。

この日は、出席要請のあった私事の集まりの帰り、紙屋町地下歩道を抜ける途中、ピアノの音色に思わず足を止め聴き入りました。人との接触や会話が少なくなったコロナ禍、青年の指先に込めた熱い思いと、真剣な演奏に、心の中から拍手を送りました。

後から広島市のホームページで調べたところ、広島市が「まちかどピアノ」を設置したのは、昨年7月（コロナで3月予定を延期）で、さらに12月からコロナ感染防止で休止されていました。今年1月18日に再開したそう。

「だれでも自由に演奏体験」。コロナ感染には十分注意を払いながら、弾く人聴く人がともに楽しめる日が、一日でも早く訪れることを願っています。（萌）

